

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-12-26

国文学会ニュース・編集後記

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

日本文学誌要

(巻 / Volume)

27

(発行年 / Year)

1982-12-05

国文学会ニュース

☆一九八二年度総会は、七月二四日(土)午後一時から法政大学六九年館九二〇番教室で開催されました。研究発表、会務・会計報告、役員改選等滞りなく終了し、五時から私学会館において懇親会が行なわれました。研究発表者と本年度役員は次の通りです。

研究発表

『平家物語』“祇王”をめぐる

谷口卓久(修士二年)

戦時下の小林秀雄 鶴間正家(博士二年)

一九八二年度国文学会委員(〇印常任委員)

- 会長 佐川 誠義
- 〇安藤 保広 伊藤 敬一 大越 嘉七
大滝十二郎 〇大谷 裕昭 大和田 茂
- 〇小野田伊市 片桐 登 〇川崎三四子
- 〇川村幸次郎 菊田 均 〇小山 和行
- 島本 昌一 〇杉本圭三郎 鈴木 斌
- 〇鈴木 和雄 〇鈴木志知郎 高梨多恵子
- 〇滝瀬 爵克 〇谷口 卓久 〇中久木真治
- 永松 知雄 〇堀江 拓充 堀切 利高
- 〇正木 信一 〇松本佐智子

☆国文学会では、会員の方々の著書を「誌要」誌上にて書評、あるいは新刊紹介というかたちで取り上げて行きたいと思っております。御手数ですが、御自身、あるいは知人の方の出版物を国文学会編集部宛送付していただければ幸いです。

原稿募集

四百字詰原稿用紙で、論文(三〇〜三五枚)、随筆(七枚)、書評(三〜五枚)程度。締切は随時。原稿の返送はいたしませんのでコピーをおとりください。

編集後記

何事もそうであるように、計画通りに事を運ぶということは生易しいことではないのだが、この「誌要」のような特殊のものになると何よりも総員の協力が一にも二にも望まれる。

今回も主論文として巻頭を飾ることの出来たのも益田先生の「『芋粥』の位置」があったればこそと思う。

そして二番目の柱となった座談会は、前回に引きつづいて法政国文学会の回顧である

が、これも正木、川村、鈴木(敬)諸氏によって肉付けされ、今後への一つの指針ともなると考えている。

第三は卒業論文を三篇掲載した。現代文学特集の形になったが、これは、たまたまそうなったという次第である。

毎回後記は編集者の手前味噌になり勝ちになるものであるが、この「誌要」をより充実したものにするために、会員諸氏の御協力を切に希うものである。(鈴木和雄)

一九八二年二月五日 発行

日本文学誌要 第二七号

編集人 鈴木 和雄

発行人 佐川 誠義

東京都千代田区富士見二ノ
一七ノ一法政大学八〇年館

発行所 法政大学国文学会

電話〇三(264)九七五二

印刷所 新日本印刷株式会社
東京都新宿区市ヶ谷本村町二七